

2013年4月30日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部
幼児教育学科/社会福祉学科

短期大学部新入生 宿泊研修を開催

白川村で大自然に触れ、高齢者らと交流を深めます

中部学院大学短期大学部（学長 片桐多恵子）では、幼児教育学科と社会福祉学科がそれぞれ、新入生を対象とした宿泊研修（「つながレッツ白川 GO 2013」）を実施します。

本学と白川村は 2011 年に連携協定を結び、**▼地域の発展と住民生活に関する共同研究**
▼地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発**▼村民に対する生涯学習機会の提供****▼福祉を発展するための協力**などを進めています。

今回の研修は各学科とも 1 泊 2 日の日程で、「つながる」をコンセプトに、白川村の大自然や生活に触れながら、仲間づくりや学生と教員のコミュニケーションを深めるほか、幼児教育学科は**白川村の大自然や生活に触れたり、同村の子育てについて関係者から話を聞いたり、社会福祉学科は地域の高齢者との交流を深めるなどして、人間力を養います。**なお、今回の研修には介護人材確保に関する国の施策で入学した学生（※）も参加します。

記

- 日 時 社会福祉学科 2013年5月15日（水）～5月16日（木）
幼児教育学科 2013年5月21日（火）～5月22日（水）
- 場 所 （宿泊先）岐阜県大野郡白川村馬狩 223 トヨタ白川郷自然学校
（活動先）自然体験プログラム 同村馬狩（トヨタ白川郷自然学校）
村内交流プログラム 同村荻町・鳩谷・平瀬
- 参加者 幼児教育学科および社会福祉学科 1 年生 約 200 名
※ 国の実施する「職業訓練（介護福祉士養成科）」約 35 名の学生（社会福祉学科）も参加します。
- 目 的
 - ・ 学生同士の仲間づくりや学生・教員間のコミュニケーションを深める。
 - ・ 地域社会との交流や自然体験などを通して 2 年間の学内外での学びの視野を広げるきっかけとする。

■ 内 容

① 自然体験プログラム

- ・ 社会福祉学科 (5月15日) 幼児教育学科 (5月22日)

トヨタ白川郷自然学校周辺の自然散策と、自然を使ったこどもの遊び体験を通して、多様な表現の工夫や環境を生かした遊びを学ぶ

② 村内交流プログラム

- ・ 社会福祉学科 (5月16日)

村内の婦人会との郷土料理づくり、老人クラブとのゲートボール大会、ものづくり体験など高齢者や住民とのふれあいを通して地域社会の生活を学ぶ

■ 老人クラブ ゲートボール大会&茶話会

(10:00-12:00、鳩谷ふれあい体育館)

■ ひまわり会 郷土食づくり体験 (10:00-12:00、白川診療所 2F 調理室)

■ 白川保育園 園児との交流会 (10:00-11:30)

■ じ・ば工房 ひで細工づくり体験 (10:00-12:00)

■ 瀬音さくら山荘 (10:30-12:30)

■ 茅葺合掌家屋 (遠山家) 文化財の手入れ体験 (10:30-12:30)

※ 障子張り体験

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 短期大学部 社会福祉学科 (担当: 吉川) TEL:0575-24-2211 (関キャンパス)

大野郡白川村役場 観光振興課 主事 (担当: 白木) TEL:05769-6-1311